

新規加入商工会員のご紹介

新たに高島市商工会へご加入頂きました事業所の皆様をご紹介させて頂きます。

事業所名	住 所	業 種	事業所名	住 所	業 種
艶房 soubou craft	マキノ町西浜	木工業	うねの農園	今津町福岡	農業・農産物小売
福田製袋所	マキノ町新保	製造業・製袋	まめまめ工房秘密基地	安曇川町常磐木	小売業(ネット販売)
ルポゼ・マキノ	マキノ町新保	ホテル・レストラン	前川 弘	安曇川町三尾里	農作物製造・販売
フォレストヴィラ 夢寿々	マキノ町牧野	旅館業	永谷電工	安曇川町田中	電気工事業
hair salon Chit Chat	今津町日置前	理美容業	株式会社 Walk	安曇川町西万木	訪問看護
近江タクシー(株)	今津町中沼	運輸業 一般乗用旅客	In one's element.	新旭町熊野本	美容業
パティスリー ポヌール	今津町住吉	洋菓子製造販売	COFFEE WORKS PLUS	新旭町藁園	コーヒー豆小売業・酒販売
串処 九四三六	今津町住吉	飲食業	Hair & Head Spa BIO	新旭町旭	美容業
IZAKAYA からし	今津町名小路	飲食業	光亞興産(株) ステージクス高島	新旭町藁園	グランピング・レストラン(飲食・宿泊)

☆未加入の市内商工業者の皆様のご加入を役職員一同お待ちしております。

職員の異動

4月1日付職員の異動と新規採用職員がありましたので、お知らせ致します。



経営支援課 主任 宮前有一朗
(栗東市商工会より)

この度、栗東市商工会から異動して参りました、宮前と申します。

私の高島市の印象は自然豊かで観光資源が多く、人が優しいことです。

赴任して約5ヶ月が経過しましたがすっかり「高島ファン」になってしまい、プライベートでもう何度も訪れています。

微力ではありますがこの魅力あふれる高島市の地域活性化と商業等の発展に貢献する所存です。

今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い致します。

【異動】高山 肇(大津北商工会へ)、福本健太郎(瀬田商工会へ)



総務指導課 主事 照下 智子
(新規職員)

初めまして。この度、新規職員として採用となりました照下と申します。

高島市の多くが琵琶湖に接し四季折々の自然に恵まれた風光明媚な地域で、市民の皆さんには優しく、きれい好きで、きっちりした方が多いと感じております。

一日も早く、会員様のお役に立てるよう日々精進してまいります。至らない点も多々あるかと思いますがご指導ご鞭撻よろしくお願いいたします。

高島市商工会報



高島市商工会 | 〒520-1217 滋賀県高島市安曇川町田中89番地
TEL/0740-32-1580 FAX/0740-32-3340 E-mail/takashima_city@shigasci.net

令和元年度事業推進にあたって

高島市商工会 会長 福田 久司

しかし一方で、国際的には激化する「米中貿易摩擦」等の不安材料があり、国内的には、少子高齢化、相次ぐ災害、また、働き方改革や消費税増税への対応、慢性的な人材不足など多くの課題を抱えていることから、今後の我々中小零細事業者の經營にも暗雲が立ち込めています。

そういった中で、地域経済を活性化させるために、商工会といたしましては、地域を支えるそれぞれの企業の経営基盤強化を目指し売上の増加や新規顧客の獲得につながるような具体的な経営指導を最重要課題としています。

また、今年度、高島市商工会農林水産業部会を新たに設立し、新規性、将来性も追求しながら商工会の魅力づくりに向け努力してまいります。

さらに、会員の皆様方が商工会に「何を期待されているのか、何を望んでおられるのか」を考え、その為に私たちが、何を提供できるかをよく考え、各事業の運営にあたりますので、会員の皆様方も商工会の各種支援事業を大いに活用していただきまますようお願い致します。

今年度も役職員が一丸となって商工会の運営にあたり、個別経営支援、地域振興・地域発展に努めてまいりますので今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和元年度 第14回高島市商工会通常総代会



毎日、猛暑が続いますが、皆様には健やかにお過ごしのことと存じます。

日頃は、商工会に対しまして格別のご理解とご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

さて、令和の時代が幕を開け、来年には東京でのオリンピック開催、その5年後には大阪で万国博覧会が開催されるということで、世の盛り上がりを想像するだけで胸の高鳴りを感じます。

高島市商工会 第14回 通常総代会開催される

去る、5月22日午後3時より、安曇川公民館「ふじのきホール」において、高島市商工会第14回通常総代会が総代89名(内 代理出席20名、委任状出席30名)の出席のもと、高島市副市長を始め、多くの関係機関の皆様のご臨席を賜り、盛大に開催されました。議長に安曇川支部の添田将智氏が選出され、以下の第1号議案から第6号議案までの全議案に対して、慎重審議の上、原案通り可決されました。

第1号議案

平成30年度事業報告書並びに収支決算書、貸借対照表、財産目録、特別会計収支決算書の承認について

第2号議案

高島市商工会定款の一部改正について

第3号議案

高島市商工会運営規約の一部改正について

第4号議案

令和元年度事業計画書並びに収支予算書の決定について

第5号議案

令和元年度運営資金一時借入金の最高限度額の決定について

第6号議案

役員の補充選任及び追加選任について



安心 安全 国がつくった

小規模企業共済

こんな悩みにお応えします

- 年金だけでは不十分で、不安がある
- 自分で積み増しするには、どんなものがあるの?

制度の特長

1 経営者のための退職金制度
小規模企業の個人事業主(共同経営者を含む)または会社等の役員の方が就業や退職後の生活資金、事業再建資金をあらかじめ準備しておく共済制度です。

2 掛金は全額所得控除
掛金は、「小規模企業共済等掛金控除」として、課税対象所得から控除できます。

3 受取時も税制メリット
共済金の受取は、一括の場合は「退職所得扱い」、分割の場合は「公的年金等の雑所得扱い」です。

小規模共済 検索

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 TEL:050-5541-7171 (共済相談室)

編集後記

残暑お見舞い申し上げます。

本年5月1日、平成より新元号「令和」となりました。

役員会に参加していますと高島市商工会の会員の退会理由に、事業主の高齢化や後継者がいない事が挙げられています。高島市は、2025年高島市内65歳以上の人口が、人口の30%以上を占めると推計されています。それに加え、少子化も加速し、人口減少は否めません。そんな中、インターネットの情報を得る事も大事ですが、各支部の会員同士の対話・コミュニケーションを取り、生きた情報を得る事で組織強化を図り、地域のブランドを今以上に県内外に発信する事が必要と考えます。

商工会組織を強固にし、会員同士が情報交換をしながら知恵と工夫でそれぞれの課題を解決していく事が得策だと考えています。

商工会の役員として、これからも組織強化と地域振興の為に日々努力してまいります。

会員が情報を共有できる会報である事を目指していきます。

組織強化委員 中川 安浩

重 点 事 業

I 経営の安定とさらなる発展のための事業

1. 経営力アップセミナーの開催

中小企業とりわけ地方の小規模事業者の経営環境は依然として厳しい状況にある中、企業が有する経営資源にも限りがあり、経営の先行きが見えない状況にあります。そうした観点から、企業の経営力を高めるための、経営者、後継者、経営管理者等を対象としたセミナーを開講します。

2. IT活用戦略セミナーの開催

情報化社会が進展する中、企業経営においてIT活用の重要性は益々高まっています。中小企業において特に不足しているといわれる、人的資源を補うためのIT活用や、IT活用によるコストダウン、IT活用による販路開拓などIT活用による経営力アップのためのセミナーを開催します。

II 地域産業の活性化と魅力ある地域づくりのための事業

1. 小さなビジネス創業応援事業

地域資源を活用したビジネスモデルの創造を目的に、市内外の元気な高齢者や主婦、学生、サラリーマンなど、高島市内にある地域資源や自らの「好き・得意」を活かした小さなビジネスを起業したい人を応援する、本格的な創業の苗床となるような小さなビジネス創業応援セミナーを開催します。

2. 新規創業事例集作成事業

これから新規創業をしようとする人、創業まもない人、第二創業企業を考えている会員企業などの新規創業の促進を目的に、今後の創業支援に活かせるような高島市内での新規創業の事例集を作成します。

III 会員満足度を高めるための組織づくり事業

1. 会員交流促進事業

持続可能な地域経済のための雇用・人材育成を目的に、会員企業の交流促進・福利厚生支援に資する、全会員企業を対象とした交流事業を開催します。本会、組織強化委員会において実施内容・実施方法等の検討を行います。

2. 会員への情報提供の在り方調査研究事業

商工会の情報発信力を高めることを目的に、会員企業が求める情報を効果的に伝えるための情報提供の在り方や情報開示の基準を作成します。具体的な検討は、本会、組織強化委員会において行います。

高島市商工会(青年部・女性部)

新青年部長 七黒幸太郎



今年度より青年部長を拝命致しました七黒でございます。今後の高島市の未来を考えると少子高齢化による人口減少は明確で、これによる高島市全体としての衰退問題も避けては通れません。現状の大きな課題に立ち向かうべく、青年部では「イキイキとした元気な街創りに貢献する」という目的を掲げ、具体的には①人間力②仲間創り③地域愛、の3つを意識して、それぞれのスキルアップを目指します。

経営者が成長すれば会社も成長します。そんな会社が市内で増えると高島市も成長し、元気になります。その為には、一步前へ進み続ける習慣を創る事が肝心です。

任期は2年と短いですが、精一杯立ち向かう所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。



新女性部長 内藤えい子

この度、部長という大役を仰せつかり、大変、身の引き締まる思いでおります。「令和」という新しい時代のスタートです。「人々が美しく、心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という想いが込められている様に、私達、女性部は心を磨き、美しく、地域との交流を大切にし、部員増強に努めて参りたいと思っております。

女性部の今年度の事業は、

★若手後継者未来創造事業：近年、全国各地で自然災害が増えております。高島市においても、平成25年の台風18号での鴨川堤防の決壊による大水害、そして、昨年の台風21号による風水被害がありました。そこで、「いざ」という時の災害時に役立つ知恵と工夫をテーマとしてのセミナーを3回開催致します。

★地域交流事業：介護施設を訪問します。

★部員交流事業：日帰り視察研修・ひなまつり講演会を予定しています。

「入って良かった」「参加して良かった」と思って頂ける女性部を目指し、部員増強に繋げていきたいと思います。

最後になりましたが、新たな女性部を作り上げる為に、皆様のご意見をお聞かせください。

皆様のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



令和元年度 農林水産業振興事業

農林水産業部会の設立について

本年度、高島市商工会は「農林水産業部会」を設立しました。これは、商業・工業・建設業・サービス業それぞれの業種別部会に加え5つ目の新たな部会として、過日の総代会で承認を経て発足したもので、地域の経済団体である商工会に農林水産業種を対象とした部会が組織されることは全国でも初めての事例であります。

部会設立に至った経緯は、近年、農林水産業種の新規会員様にご加入いただくことが増え、個別のニーズをとらえた部会事業・会員指導の必要性に直面したことが主な理由です。農林水産業に関連した事業内容や農林水産業者とのやり取りがある会員様に限らず、「地域の農林水産業や部会の事業運営に興味がある」といった会員様まで広く部会加入の対象とし、初年度より早速、充実した事業を運営していくよう計画しております。

なお、昨年度より開催の当部会の前身である「高島アグリビジネス研究会」には、立命館大学に平成30年度に創設された「食マネジメント学部」のご協力をいただいてきましたが、本年度は正式に商工会と大学との連携協力に関する協定書を締結し、専門的・学術的な分野における連携事業を実施してまいります。

1. 高島「食と農」の地域資源調査研究事業

高島市のブランド力向上のためのコンテンツづくりに繋がるよう、農林水産資源や関係する食文化、人々の暮らし等の地域資源を調査研究する。本事業は立命館大学と業務委託契約を締結し、地域資源データの収集・整理・分析を基とする報告書の作成を委託する。

2. 高島アグリビジネス研究会の開催

高島「食と農」の地域資源調査研究事業と連携した内容で開催する。立命館大学食マネジメント学部に委託した調査研究について、調査内容や研究結果の報告・検討を行う機会とする。

3. 流通業者等との懇談会の開催

農林水産業者の生産物の新たな販路拡大を図るため、部会員の生産物をPRし商談のきっかけとなるような機会として、地元飲食店や宿泊施設、大手流通業者等との懇談会を開催する。

高島「食と農」の地域資源調査研究事業

本年度の当該事業は、前半の取り組み地域を高島地区に絞って調査研究を行うこととし、食マネジメント学部の生徒による実地調査を6月15日(土)～16日(日)の一泊二日および17日(月)18日(火)22日(土)に、1グループ5～9名の7グループ計45名で実施しました。

生徒はほとんどが滋賀県外の出身で、高島市についてまったく知らないというメンバーでしたが、各グループのテーマに沿って、地域に根差した食文化や農林水産資源、観光資源など、現地協力者からの貴重なお話や体験を通じて魅力を学んでいただきました。初めて訪れる地域での新鮮な経験から、参加者一同真剣に取り組んでおり、後日の研究に繋がり成果の期待できる内容で調査を実施することができました。



畠地区的農家民宿グループの澤井さんから郷土料理・伝統食について教わり調理実食しました



福井弥平商店にて社長から日本酒について講座を受けました



白湖(はこ)にて喜多品老舗の北村さんから鮒寿しについて講座を受け3種類の鮒寿しを試食しました

立命館大学生による高島地区の実地調査

本年度の当該事業は、前半の取り組み地域を高島地区に絞って調査研究を行うこととし、食マネジメント学部の生徒による実地調査を6月15日(土)～16日(日)の一泊二日および17日(月)18日(火)22日(土)に、1グループ5～9名の7グループ計45名で実施しました。

生徒はほとんどが滋賀県外の出身で、高島市についてまったく知らないというメンバーでしたが、各グループのテーマに沿って、地域に根差した食文化や農林水産資源、観光資源など、現地協力者からの貴重なお話や体験を通じて魅力を学んでいただきました。初めて訪れる地域での新鮮な経験から、参加者一同真剣に取り組んでおり、後日の研究に繋がり成果の期待できる内容で調査を実施することができました。

第一回アグリビジネス研究会 立命館大学生による調査研究成果の報告会

高島「食と農」の調査研究事業の実地調査および後日の研究内容の成果について、学生による報告および検討を重ねる場として、第1回目のアグリビジネス研究会を7月15日(月・祝)午後6時30分～9時に安曇川公民館視聴覚室で開催しました。



各グループ発表後に出席者からの質問等を受け付けました



あるグループの発表では「孫のように可愛がつてもらった」という言葉や地域課題の改善を目指した具体策が印象的でした